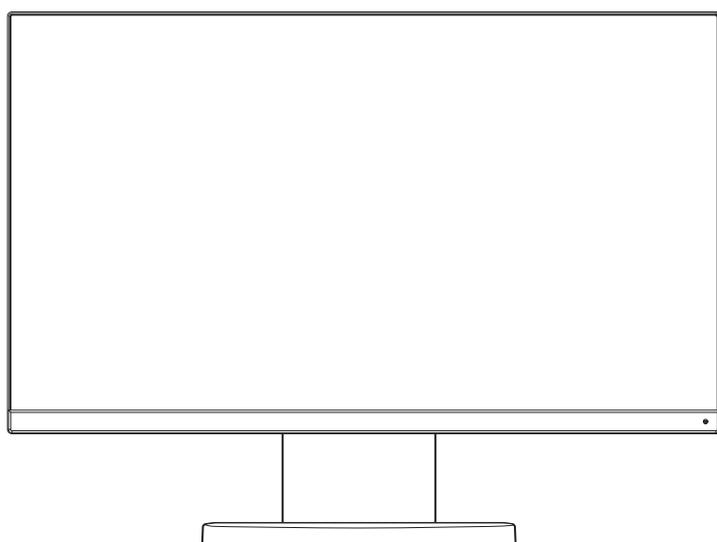


23.8型カラー液晶モニター

CV-F238

(CV-F238BN0JA)

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書と「セットアップマニュアル(保証書付き)」は大切に保管してください。

もくじ	ページ
ご使用前に.....	2
何ができるの?	2
付属品の確認	3
本書の見かた	3
安全のために必ず守ること.....	5
推奨使用方法.....	8
各部の名称.....	9
本体正面	9
本体背面	10
接続.....	11
ベーススタンドを取り付ける	11
接続方法について	12
接続する	13
ヘッドホンの接続	15
縦型で使用する	16
画面調節.....	17
自動調節をする (アナログ接続の場合)	17
OSD 画面の基本操作	18
OSD 機能について.....	19
主な OSD 機能	21
OSD 機能による画面の調節が必要となる場合	23
DisplayPort ケーブル接続時に画面にノイズが 発生する場合	23
機能.....	24
その他の機能について	24
困ったとき.....	25
故障かな?と思ったら...	25
本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報) ...	29
保証とアフターサービス	29
付録.....	31
再梱包するとき	31
市販のアームを取り付けるとき	31
VESA 金具の取り付け方	32
用語解説	33
仕様	35
FCC Information	36
WEEE Mark	36

ご使用の前に

何ができるの？

FULL HD の高解像度な画像を表示

- 1920×1080の解像度に対応 (→P23)

3台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

- 3系統入力(→P12)

3台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

音声や音楽を楽しみたい

- ステレオスピーカー内蔵(1W+1W) (→P19)
- ヘッドホン端子も装備 (→P10、15)
- DisplayPort Audio、HDMI Audio対応 (→P10、12)

明るさや色の調節をしたい

- OSD機能(On Screen Display) (→P18)

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラー調節などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作(OSDオートオフ、OSDロックなど)もできます。

消費電力を削減したい

- エコモード設定機能 (→P21)

2段階エコモード設定で、消費電力を調節することができます。

- CO₂削減量、CO₂排出量 (→P19、22)

電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO₂削減量(kg)で表示します。CO₂排出量は計算によって求めた概算値を表示します。

- 白色LEDバックライトパネル採用

液晶パネルには、優れた発光効率により消費電力低減を実現する、白色LED(発光ダイオード)搭載のバックライトパネルを採用しています。省エネルギーのメリットに加え、環境に負荷を与えない水銀フリーも実現しています。

スタンドの高さ、角度を調節したい

- スタンド高さ調節機能 (→P15)

110mmの範囲で高さ調節ができる専用スタンドが装備されています。角度も上下方向、左右方向に調節することができます。

ディスプレイを縦型で使用したい

- 縦型に回転する (→P16)

左右90度回転できるピボット機能を搭載。左右のディスプレイのベゼルの細い部分を合わせるように設置することができます。縦長の文書やホームページの閲覧などに最適です。縦型で使用する場合は、別途ソフトウェアが必要になる場合があります。

目に優しい画面表示

- ブルーライト低減モード (→P21)

画面から発光されるブルーライトを低減し、INPUT ボタン(SELECT)ひとつで目に優しい表示に調節できます。

- フリッカーフリー

バックライトを直流で制御することで画面のちらつきをなくします。

本機は、デジタルとアナログ両方の信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」(→P12)に記載してあります。

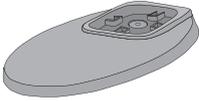
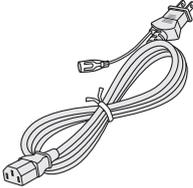
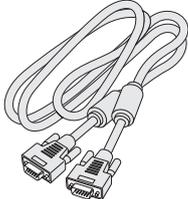
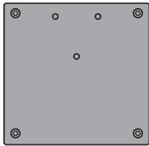
接続方法	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
デジタル接続	DVI-D端子、DVI-I端子またはDisplayPort端子、HDMI端子	不要(つなぐだけでご使用になれます)
アナログ接続	ミニD-SUB15ピン端子、DVI-I端子 ^{※1} またはD-SUB15ピン端子	要(→P17)
3系統入力	デジタル出力端子とアナログ出力端子を併用します。	要(アナログ接続のみ)(→P17)

Apple Macintosh シリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター(市販)が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」(→P12)をご覧ください。

※1 DVI-I端子によるアナログ接続には、変換アダプター(市販)等が必要となります。詳しくは「接続方法について」(→P12)をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

<p>ベーススタンド</p> 	<p>電源コード</p> 	<p>信号ケーブル</p> 
<p>VESA金具</p> 	<p>ネジ</p> 	<p>ミニD-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン (アナログ接続用)</p> 
<p>セットアップマニュアル(保証書付き)</p>		<p>DisplayPortケーブル</p> 

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取り扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取り扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P2)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P3)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P33)

もくじで探す→「もくじ」(→表紙)

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用前に (→P2)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全のために必ず守ること (→P5)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称 (→P9)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続 (→P11)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節 (OSD機能) (→P18)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

機能 (→P24)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき (→P25)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録 (→P31)

用語の解説などを掲載しています。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

お知らせ

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00013%以下です。

本製品は、ISO-9241-307基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1サブピクセル(副画素)単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。

つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

DisplayPortは、Video Electronics Standards Associationの米国その他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国その他の国における商標または登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	--	---	--------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	△ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

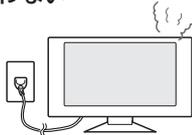
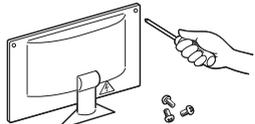
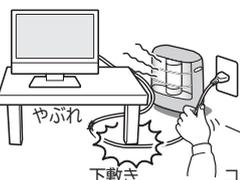
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する！！

異常のまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、液晶ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。
転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p>  <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	<p>液晶ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない</p> <p>そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。</p>  <p>分解禁止</p>
<p>電源コードを傷つけない</p>  <p>傷つけ禁止</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因となります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>異物をいれない</p> <p>特にお子さまにご注意</p>  <p>禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>
<p>キャビネットを破損したときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>使用禁止</p>		

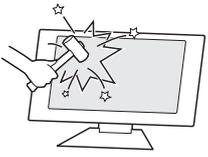
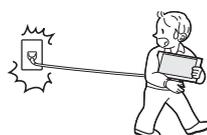
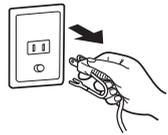
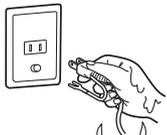
<p>アース線を接続する</p> <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因となります。</p> <p>アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p>アース線を接続せよ</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。</p>  <p>水ぬれ禁止</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p>  <p>禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p>
---	--	--

警告

<p>正しい電源電圧で使用する 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。 安全のため他の機器には使用できません。</p>	 <p>指示</p>	<p>修理・改造をしない けが・火災・感電の原因となります。</p>	 <p>修理・改造禁止</p>	<p>液晶を口にしない 液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因となります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類についってしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。</p>	 <p>警告</p>
	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない 感電の原因となります。</p>	 <p>接触禁止</p>	<p>ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。</p>		 <p>禁止</p>

注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

<p>狭い所に置かない</p>   <p>設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p>   <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>   <p>設置禁止</p>
<p>布などで通風口をふさがない</p>   <p>禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p>   <p>屋外での使用禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p>   <p>設置禁止</p>
<p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>本機は屋内での使用を想定しています。 屋外で使用すると故障の原因となることがあります。</p>	
<p>液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因となることがあります。</p>   <p>禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない 火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p>   <p>禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。</p>   <p>プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>   <p>ぬれ手禁止</p>	

注意

電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかりと差し込む

お手入れの際は電源プラグを抜く感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

スタンドに指をはさまない

角度および高さ調節時に指や手をはさむとけがの原因となることがあります。



ケガに注意



手の挟みこみに注意

液晶ディスプレイを廃棄する場合

ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。
(→P29:本機を廃棄するには)

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く



プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

火災の原因となることがあります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする

キャビネット及びスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。同様にキャビネット及びスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。パネル表面のお手入れにつきましても、溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、イソプロピルアルコール) 推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがあります。



使用禁止



液晶ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。

日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



プラグを抜く



上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~70cm離れたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れやすくなるので、適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。疲れを感じた場合は目を休ませてください。

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しついたりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けてください。



重要なお知らせ

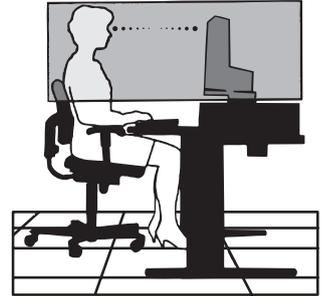
残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディスプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。

- ・ 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてください。
- ・ 画面の上部が目線が目線より少し下にくるようにディスプレイの高さを調節します。画面の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- ・ ディスプレイは、目の位置から40cm以上離し、また70cm以上離れない位置に設置します。目からディスプレイまでの最適な距離は50cmです。
- ・ 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。1時間ごとに5分から10分の休憩を取り、6m以上離れたものを見るなどして目を休ませてください。また、疲れを感じた場合は目を休ませてください。
- ・ 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90°になるようにディスプレイを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、ディスプレイの傾きを調節します。
- ・ 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルタを使用してください。
- ・ ほこりの付かない表面の滑らかな布を使ってディスプレイの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- ・ 画面が見やすくなるよう、ディスプレイの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- ・ 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- ・ より頻繁に見るもの(画面もしくは参照資料)が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最小限に抑えることができます。
- ・ 画面の焼き付き(残像効果)を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- ・ 時々、まばたきをするようにしてください。眼精疲労を予防する眼球体操などを心がけてください。詳細は眼科医にご相談ください。定期的に眼科検診を受けてください。



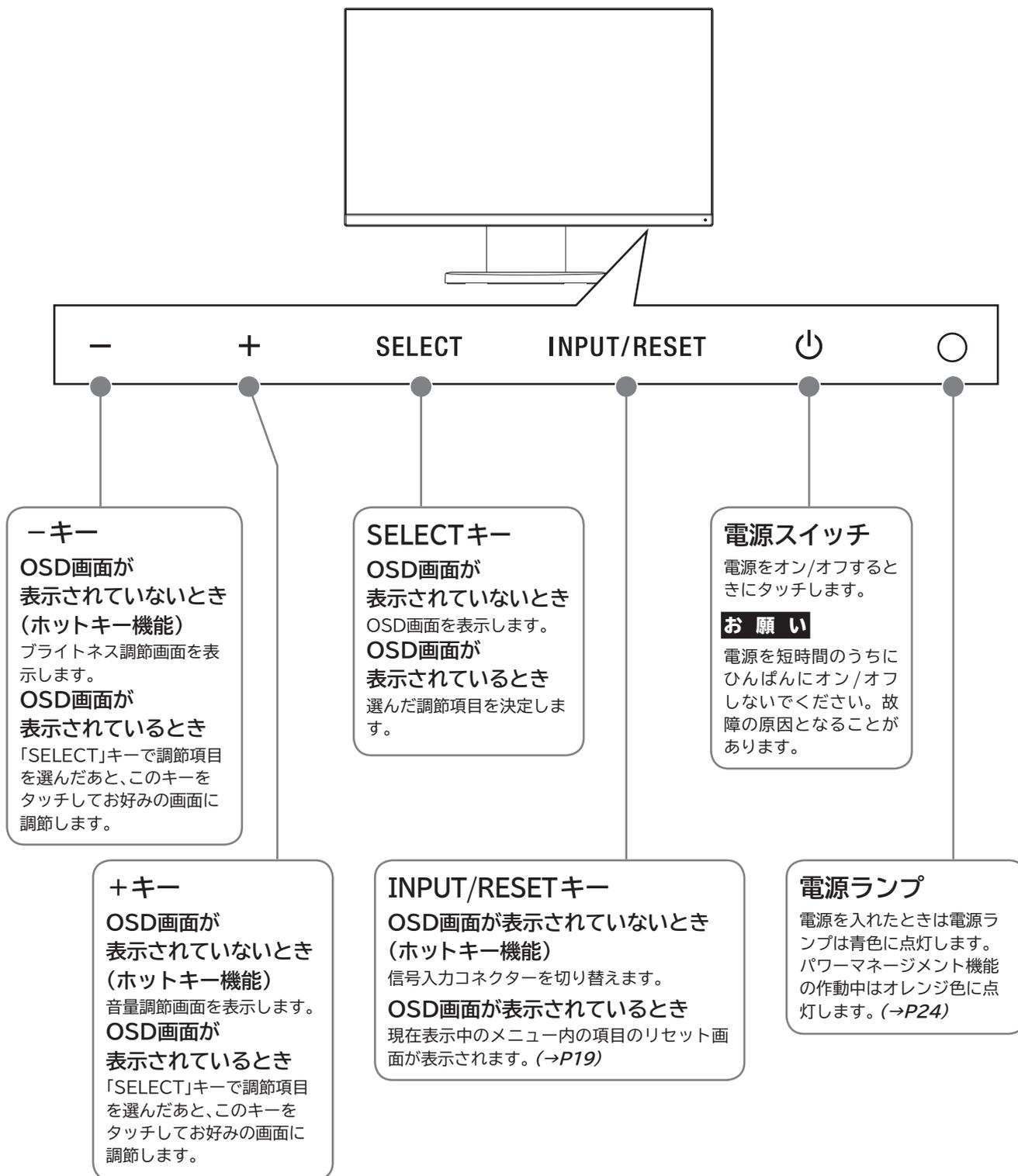
お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- ・ 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用してください。
- ・ あらかじめ設定されている色を使用してください。
- ・ リフレッシュレート60Hzのノンインターレース信号にて使用してください。
- ・ 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、またコントラスト不足による目の疲労を引き起こすおそれがあるため、使用はお控えください。

各部の名称

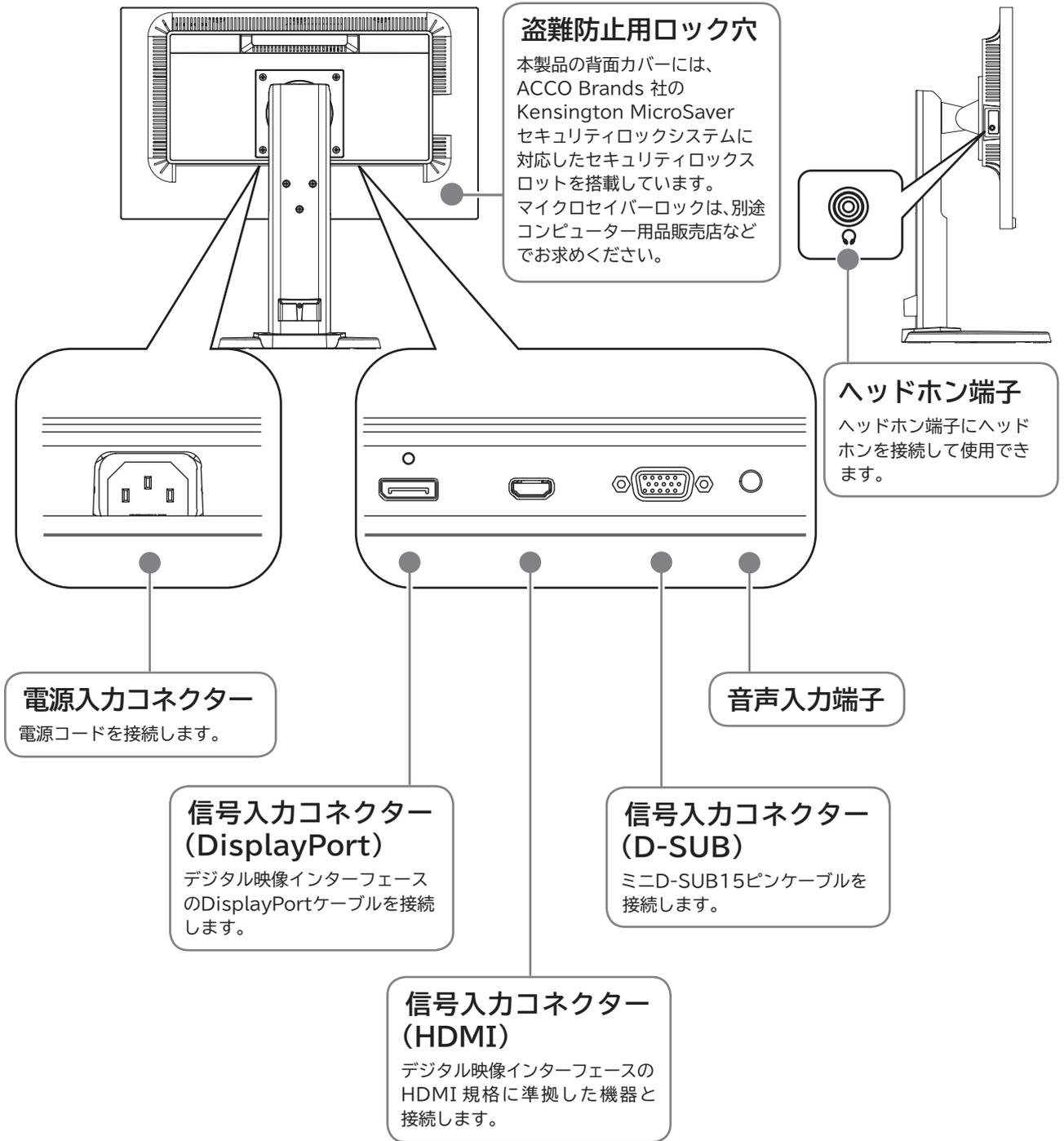
本体正面



お知らせ

- 各キーによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」(→P18)をご覧ください。
- 本機を縦型に回転してもOSD画面は縦型表示にはなりません。
- SELECTキーを3秒以上タッチするとブルーライト低減モードに切り替わります。(→P21)

本体背面



* Kensington、MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。

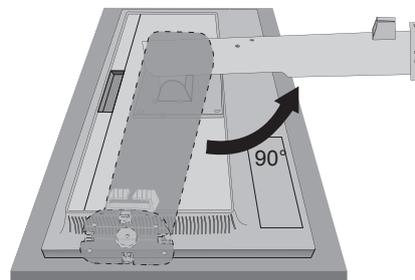
ベーススタンドを取り付ける

1 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く。

2 図のようにスタンド部分を90°回転させてください。

⚠ 注意

スタンドを回転させる際に指をはさまないように注意してください。



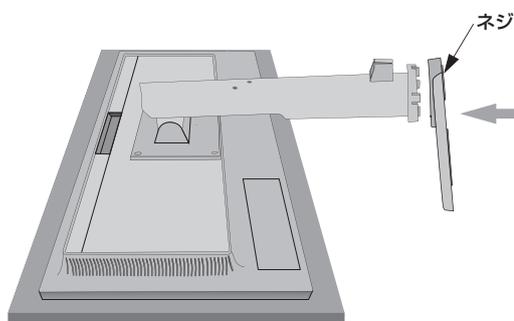
3 ベーススタンドに取り付けられているネジを使って本体にベーススタンドを取り付けてください。

⚠ 注意

スタンドにベーススタンドを取り付ける際は、安全のため、ネジを完全に締めてください。

お願い

●再梱包をする場合は、逆の手順でおこないます。

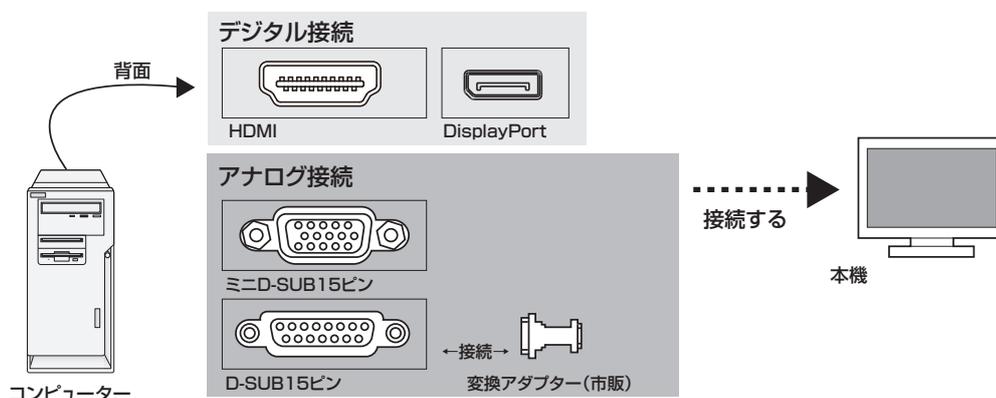


接続方法について

本液晶ディスプレイの信号入力コネクタは、アナログ信号(ミニD-SUB15ピン)とデジタル信号(HDMI、DisplayPort)に対応しています。

また、3台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。

ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号入力コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	ミニD-SUB15ピン (アナログ)	HDMI (デジタル)	DisplayPort (デジタル)
DVI-I(アナログ接続 /デジタル接続)	DVI-AーミニD-SUB15ピンケーブル (市販)で接続(アナログ接続)またはミニ D-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン ケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	DVI-DーHDMI 変換ケーブル(市販)で接続	接続できません
DVI-D (デジタル接続)	接続できません	DVI-DーHDMI 変換ケーブル(市販)で接続	接続できません
DisplayPort (デジタル接続)	接続できません	接続できません	DisplayPortケーブル (市販)で接続
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)	ミニD-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン ケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン (アナログ接続)	ミニD-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン ケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません	接続できません
HDMI(デジタル接続)	接続できません	HDMIーHDMIケーブル (市販)で接続	接続できません

DVI-I : デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能

DVI-D : デジタル入力のみに対応している DVI 端子

DVI-A : アナログ入力のみに対応している DVI 端子

接続する

1 信号ケーブルを接続する

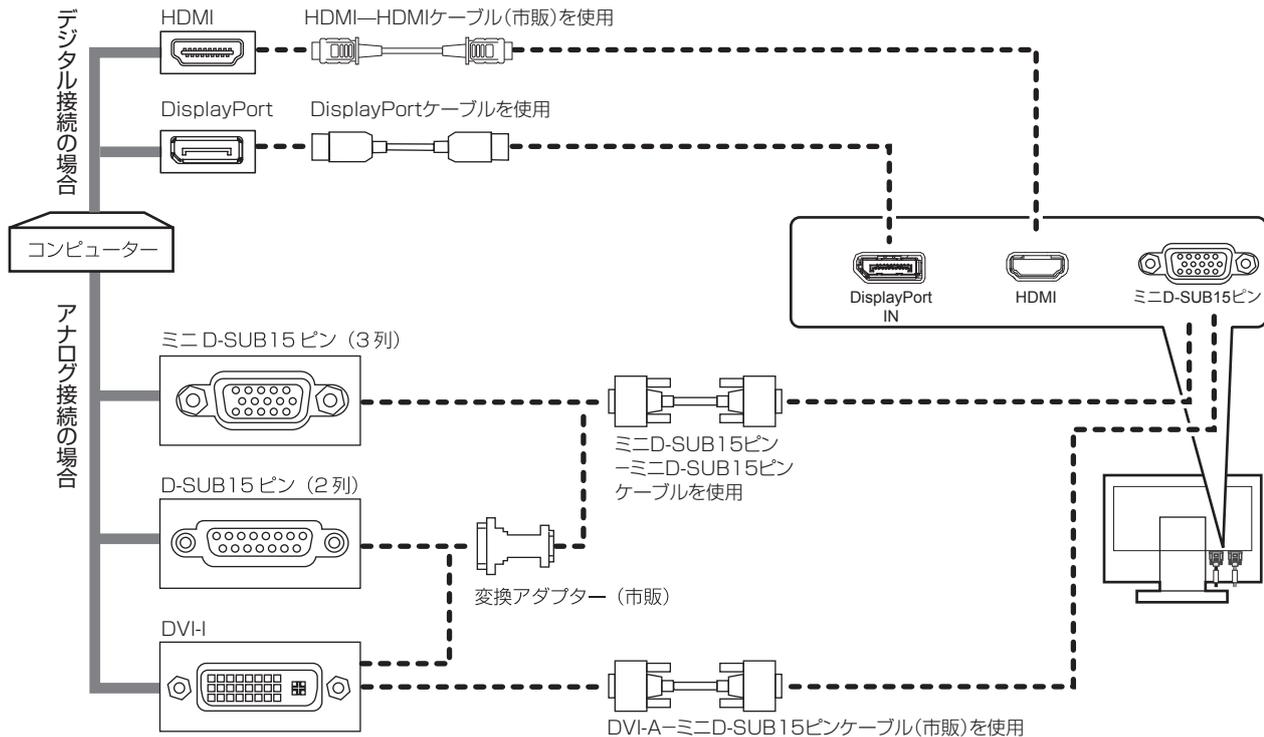
信号ケーブルおよび変換アダプター(市販品)は、コネクターの向きを確かめ、垂直に奥までしっかりと差し込んでください。

お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- DisplayPortケーブル、ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルは付属品をご使用ください。

お知らせ

- 信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。



※Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

※市販の変換アダプターやケーブルをご使用の際は接続されるコンピューターのコネクタ形状にあったものをお買い求めください。

※本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

※HDMI AudioまたはDisplayPort Audioを使用する場合は「SOUND INPUT (OSD機能)」→ HDMIまたはDisplayPortを選択します。(→ P22)

※コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

※DisplayPortケーブルにはロックが付いています。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。

※信号変換アダプターを使用した機器からの信号をDisplayPortに接続しても映像が表示されない場合があります。

※HDMIケーブルの端子の向きを確認してください。

※HDMI、DisplayPort規格に準拠した機器およびケーブルを接続してください。

※HDMI接続の場合、一部の機器では映像や音が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

2 オーディオケーブルを接続する

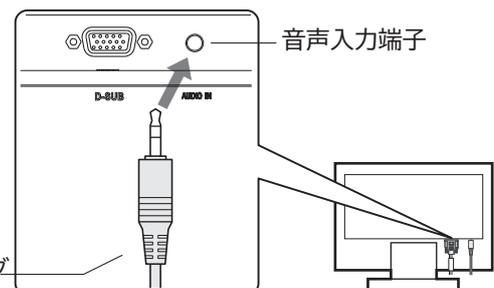
(D-SUB入力時)

オーディオケーブル(市販)のプラグ(水色)を音声入力端子に奥までしっかりと差し込みます。

(DisplayPort/HDMI入力時)

- ・DisplayPortケーブルまたはHDMIケーブル(市販)で接続した場合、本接続は不要です。
- ・DVI-D—DisplayPort変換ケーブル(市販)で接続した場合オーディオケーブル(市販)のプラグ(水色)を音声入力端子に奥までしっかりと差し込みます。OSDメニューのSOUND INPUTで「AUDIO IN」を選択してください。

オーディオ
ケーブルプラグ



お知らせ

- コンピューターによってはDisplayPortから音声を出力する場合、コンピューター本体の設定変更が必要となる場合があります。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。

3 電源を接続する

お知らせ

- 画面を上方に傾けたほうがケーブル類の接続が簡単におこなえます。

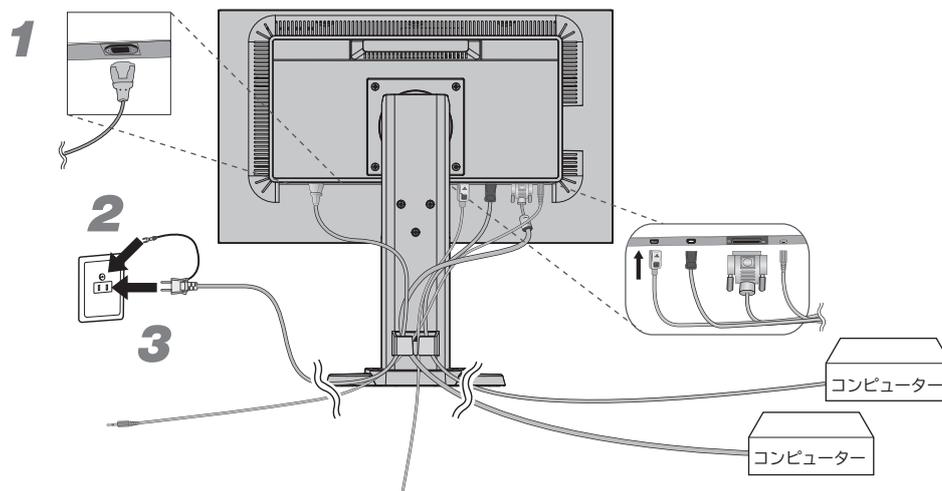
お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

お願い

- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、ケーブルが外れないことを確認してください。



2 アースリード線を接地(アース接続)する

3 電源プラグをAC100V 電源コンセントに接続する

⚠ 警告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外 (最大AC240V) でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地 (アース) してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

4 本機およびコンピューターの電源を入れる

4 設置と調節をおこなう

1 本機を使用する場所に設置する

お願い

- スタンド底面部にある↑を右図のように手前に向けて設置してください。
↑の位置がずれていると、左右均等にスイーベルしなくなります。



2 本機およびコンピューターの電源を入れる

3 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

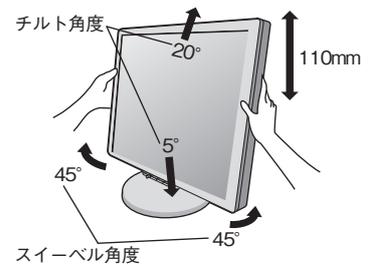
まずは「自動調節をする(アナログ接続の場合)」(→P17)の手順に従って自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は、「画面調節(OSD機能)」(→P19)をご覧ください。

4 高さと角度を調節する

お好みに合わせて本機の高さと角度を調節してください。
右図のように見やすい角度および高さに調節します。

⚠ 注意

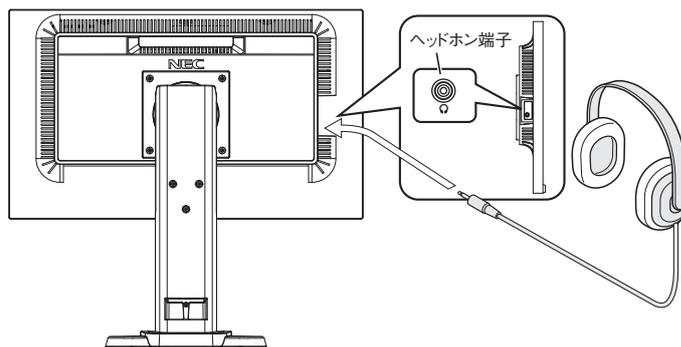
角度および高さ調節時に、指をはさまないように気をつけてください。
けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

ヘッドホンの接続

本体側面(→P10)のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。



⚠ 注意

ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。
音量によっては耳を傷める原因となることがあります。

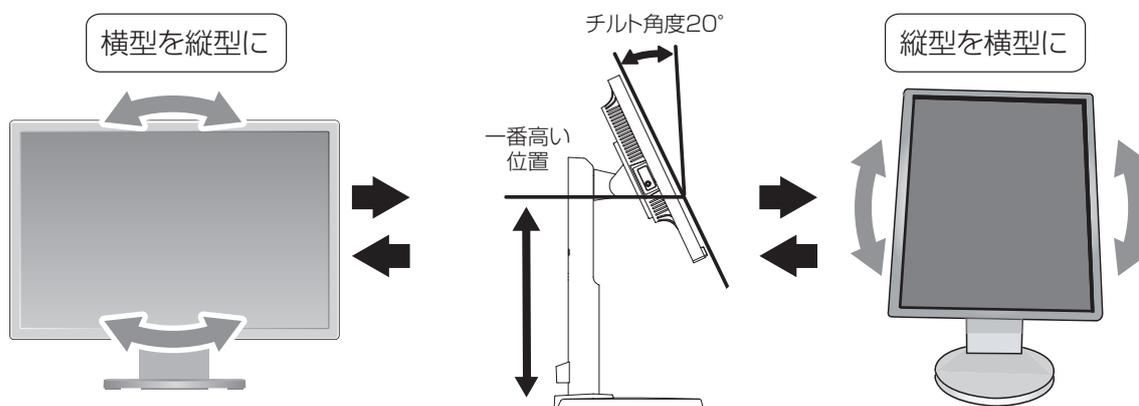
お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

縦型で使用する

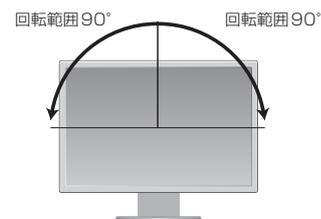
1 縦型に回転する

本機を一番高い位置までスライドします。
本機のチルトの角度を最大にします。
本機の両端をしっかり持ち、回転させてください。



⚠ 注意

- ・ 本機を回転させる場合は必ず電源コード、信号ケーブルを外してからおこなってください。
- ・ 本機を回転する場合は必ず上図の向きに回転してください。回転範囲は右図のとおりです。
- ・ 本機を回転する場合は、必ず本機を一番高い位置までスライドさせ、チルト角度を20°にしてください。低い位置のまま回転すると、指をはさむなど、けがの原因となることがあります。また、机にぶつけるなど、原因となることがあります。

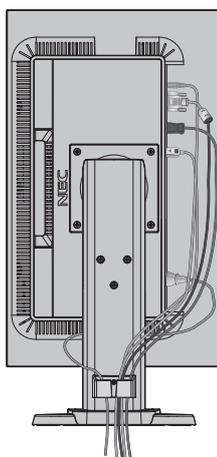


2 各種ケーブルを接続する

- ・ 下記の図を参考に電源ケーブル、信号ケーブルを接続してください。
- ・ 画面を前後に動かし (→P15) ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

お願い

- 下記の図を参考にケーブルのたわみについては十分な確認をおこなってください。十分な配慮をおこなわない場合はケーブルの断線等の原因となります。



お知らせ

- 縦型表示を実現するためには、縦型表示に対応しているグラフィックスカードが必要です。

自動調節をする（アナログ接続の場合）

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。（→P19）

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

お知らせ

- 本手順はアナログ接続の場合のみです。デジタル接続の場合は必要ありません。
- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」（→P18）をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れます。

2 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示します。

3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」キーをタッチし、OSDメニューを表示します。



4 コントラストの自動調節をおこないます。

① 「+」キーをタッチし、オートコントラストにカーソルを移動し、「SELECT」キーをタッチします。



② 「INPUT/RESET」キーをタッチします。

コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順5に進みます。



自動調節画面

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこないます。

① コントラストの自動調節が終わったら、「SELECT」「+」キーの順にタッチし、「自動調節」にカーソルを移動し「SELECT」キーをタッチします。



② 「INPUT/RESET」キーをタッチします。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



「実行中」の文字が消え、元の画面が表示されたら、調節完了です。これですべての自動調節が完了しました。



自動調節画面

6 以下の手順でOSDメニューを消してください。

① 「SELECT」キーをタッチします。

② 「+」キーをタッチして「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。

③ 「SELECT」キーをタッチし、OSDメニューを消します。

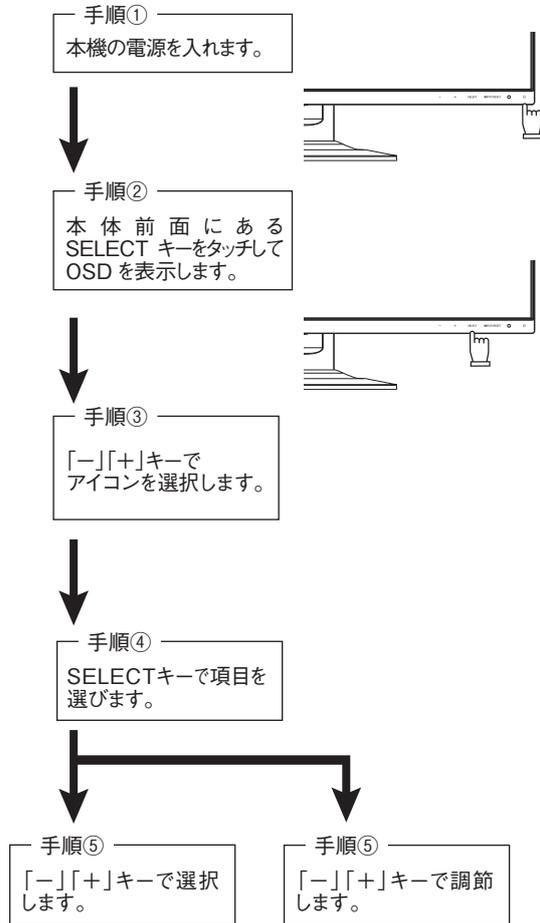
お願い

- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

OSD画面の基本操作

本機にはOSD(On Screen Display)機能がついています。OSD画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

お知らせ

- 上記のキーのいずれもタッチせず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。(工場設定は45秒です。)

OSD 機能について

アイコン	内容	
MUTE (消音) サウンド	スピーカーの音量を調節します。 「INPUT/RESET」キーをタッチすると、MUTE (消音) 状態になります。 もう一度「INPUT/RESET」キーをタッチすると、MUTE (消音) 状態はオフになります。	
ブライツネス	画面の明るさを調節します。「INPUT/RESET」キーをタッチすると、エコモード状態になり、消費電力を軽減します。	
L/B時* コントラスト	コントラストを調節します。	
	DV MODE	画面表示に黒い部分が多くなると自動的に画面の明るさを下げ、コントラストを向上させます。 お知らせ ●DV MODE がON に設定されている場合はECO MODE はオフとなり変更できません。
オートコントラスト	コントラストを自動調節します。(アナログ接続のみ)	
自動調節	左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。(アナログ接続のみ)	
左/右	左右方向の表示位置を調節します。(アナログ接続のみ)	
下/上	上下方向の表示位置を調節します。(アナログ接続のみ)	
水平サイズ	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。(アナログ接続のみ)	
位相	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。 また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。(アナログ接続のみ)	
NATIVE COLOR	色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。 設定されている色(9300 7500 sRGB USER NATIVE L/B)がアイコンで表示されます。 お知らせ ●L/Bを選択している場合、コントラストとDV MODE は設定できません。	
R RED	赤色を調節します。	
G GREEN	緑色を調節します。	
B BLUE	青色を調節します。	
TOOL	TOOLアイコンを選択すると下記のアイコンに切り替わります。	
	TOOLアイコン	内容
	EXPANSION	自動的に表示画面を拡大します。 FULL : 画面表示を画面全体に拡大します。 ASPECT : 縦横の比率を変えずに画面を拡大します。
	RESPONSE IMPROVE	RESPONSE IMPROVEをオンにすることにより、液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。
	DDC/CI	DDC/CI機能をオン/オフします。
	CO ₂ 削減量	省エネ効果をCO ₂ 削減量(kg)で表示します。
	CO ₂ 排出量	本機による累積CO ₂ 排出量を表示します。
	MONITOR INFO.	MODEL(型名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。
	SOUND INPUT	スピーカーまたはヘッドホンから出力される音声をAUDIO INPUTまたはHDMI、DISPLAYPORTから選択します。(DisplayPort、HDMI入力のみ)
INPUT RESOLUTION	自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に判定します。(アナログ接続のみ) 1280×768、1360×768、1366×768、1600×900、1280×960、1400×1050、1680×1050の解像度を選択します。 注: 選択対象となる信号入力時以外は本機能は動作しません。	

* L/B: ブルーライト低減モード

アイコン	内容	
 OSDツール	OSDツールアイコンを選択すると下記のアイコンに切り替わります。	
	OSD ツールアイコン	内容
	 言語切替	OSD画面の表示言語を切り替えます。
	 OSDオートオフ	OSD画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。
	 OSDロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。OSDロック状態でも、音量、コントラストとブライトネスは調節可能です。
 入力表示	アナログとデジタルの入力が切り替わった時に画面右上に入力信号の情報を表示する機能をオン/オフします。	
 オールリセット	CO2 削減量、CO2 排出量、言語切替以外の設定を出荷時の状態に戻します。	
 EXIT	OSD画面を消します。	

主なOSD機能

ブライトネス

■ ブライトネス

調節バー (0% ~ 100%)が表示されます。「-」キーまたは「+」キーで画面をお好みの明るさに調節することができます。

「INPUT/RESET」キーをタッチすることで、エコモード設定の切り替えができます。

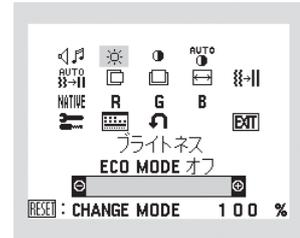
ECO MODE オフ：ブライトネス設定が最大となります。

ECO MODE 1：ブライトネス設定が80%となり、消費電力を軽減します。

ECO MODE 2：ブライトネス設定が40%となり、さらに消費電力を軽減します。

お知らせ

- DV MODEがONに設定されている場合はECO MODEはオフとなり変更できません。



カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

■ 9300、7500

色温度調節

あらかじめ設定されている9300、7500の色温度を選択することができます。

■ sRGB

色再現国際規格sRGBに対応した色で表現します。

■ USER

色調節

次のそれぞれの色についての調節ができます。

R：赤色、G：緑色、B：青色

9300、7500、sRGB、NATIVE、L/Bを選択していても、R、G、Bどれかを調節するとその時点で選択がUSERに切り替わります。

■ NATIVE

液晶パネル本来の色合いで表示します。

■ L/B

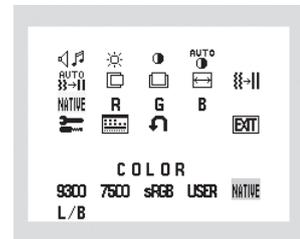
画面から発光されるブルーライトを低減します。

お知らせ

- SELECTキーを3秒以上タッチするとブルーライト低減モードに切り替わります。色合いを変更する場合は「SELECT」キーをタッチしてOSD画面を表示し、カラー調節から変更します。
- L/Bを選択している場合、コントラストとDV MODEは設定できません。

■ リセット

「INPUT/RESET」キーをタッチすると調節した値が工場設定に戻ります。

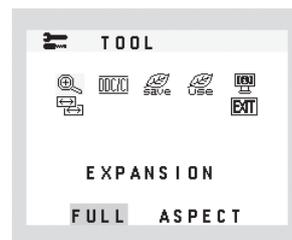


ツール

■ EXPANSION

自動的に表示画面を拡大する機能です。1920×1080より低い解像度の信号が入力されている場合に機能します。

- FULL : 画面表示を1920×1080に拡大します。
- ASPECT : 縦横寸法比率を変えずに画面を拡大します。



お知らせ

- 一部の解像度では画面全体には拡大出来ません。
- 入力信号によっては、表示画面が縦または横方向に十分に拡大されないことがあります。

■ RESPONSE IMPROVE

RESPONSE IMPROVEをオンにすることにより、液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。

■ DDC/CI

DDC/CI機能をオン/オフします。
ディスプレイのパソコンとの双方向通信機能をオン/オフします。

■ CO2削減量

電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO₂削減量(kg)で表示します。

■ CO2排出量

本機による累積CO₂排出量を表示します。この値は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。
注: CO₂削減量および排出量は、OECD(経済協力開発機構)2008年EditionのCO₂-電力量換算値に基づいて算出しています。
下段の表示値は現在までの総積算量を示しています。
上段の表示値は「INPUT/RESET」キーをタッチすると、0.0kgにリセットされます。

■ 表示モード

入力している信号の情報、MODEL(型名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。

■ SOUND INPUT (DisplayPort, HDMI入力のみ)

スピーカーまたはヘッドホンから出力される音声をDP、HDMI、AUDIO IN(音声入力端子)から選択します。
信号入力コネクタのD-SUBを選択している時は、音声入力端子の音声スピーカーまたはヘッドホンから出力されます。

■ INPUT RESOLUTION (アナログ接続のみ)

自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に判定します。
1280×768または1360×768または1366×768(垂直解像度768)、
1600×900または1280×960(水平周波数60kHz、垂直周波数60Hz)
1400×1050または1680×1050(垂直解像度1050)

注: 選択対象となる信号入力時以外は本機能は動作しません。

OSDツール

■ 言語切替(LANGUAGE)

OSD画面の表示言語のリストが表示されます。「+」キーまたは「-」キーをタッチして表示言語を切り替えてください。

■ OSDオートオフ

OSD画面を表示させたあと、設定された時間になるとOSD画面が自動的に消えるようにする機能です。「+」キーまたは「-」キーをタッチして時間を設定してください。時間は5秒単位で10秒~120秒の範囲から選択できます。

■ OSDロック

OSDロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

● OSDメニューの操作をロックする

「INPUT/RESET」キーをタッチしながら「+」キーをタッチすると、OSDがロックされOSDオートオフで設定された時間後にOSDメニューは消えます。

● ロックを解除する

OSDが表示されている状態で、「INPUT/RESET」キーをタッチしながら「+」キーをタッチするとロックが解除されます。

■ 入力表示

アナログとデジタルの入力が切り替わった時に画面右上に入力信号の情報を表示する機能をオン/オフします。オフした場合、画面右上に入力信号の情報がなくなります。また、AC接続した後の最初の電源ON時のみに示されるエナジースターロゴの表示もなくなります。

■ オールリセット

CO₂削減量、CO₂排出量、言語切替以外の設定を出荷時の状態に戻すことができます。画面の表示に従って操作してください。



OSD機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節（→P17）をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

<工場プリセットタイミング>（PC入力時）

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
720 × 350	31.5kHz	70.1Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.1Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	75.0kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1440 × 900	55.9kHz	59.9Hz	
1440 × 900	70.6kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	67.5kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング

- ・ 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- ・ 本機は11種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリ機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD機能でお好みの画面に調節（→P17）するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- ・ 「オールリセット」を実行するとすべてのユーザーメモリに記憶された値が消去されます。
- ・ 本機の周波数は水平周波数：31.5～81.1kHz 垂直周波数：56～75Hz対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- ・ インターレース信号には対応していません。
- ・ 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

DisplayPortケーブル接続時に画面にノイズが発生する場合

添付ケーブル以外のケーブルをご使用の場合や接続するコンピューターによっては、画面にちらつき状のノイズが発生したり、画像が表示されない場合があります。その場合は以下の操作で改善される場合があります。

- ① ディスプレイからDisplayPortケーブルを抜きます。
- ② 「VIDEO INPUT画面（3 DP NO SIGNAL）」のOSD画面が表示されたら「SELECT」キーをタッチします。
- ③ 「VIDEO INPUT画面（3 DP DP LONG CABLE）」のOSD画面が表示されたら「-」または「+」キーを押して設定値を変更してください。
添付ケーブルより短いケーブル長の場合：「-」キーで小さい数字に変更
添付ケーブルより長いケーブル長の場合：「+」キーで大きい数字に変更
- ④ 変更後DisplayPortケーブルを再接続し画面を確認してください。
- ⑤ 画面ノイズが消えない場合には①～④を繰り返してください。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920ドット×1080ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

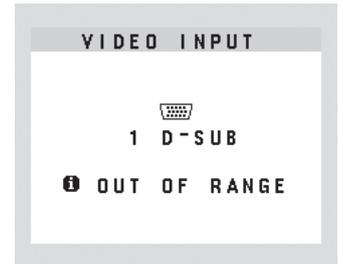
簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

OSD画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 75Hzより高い垂直同期信号では動作しません。



Plug&Play機能

VESAのDDC(Display Data Channel)2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能(NTAA: No Touch Auto Adjust)

(800×600以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

自動入力選択機能

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。

複数のコンピューターを本機につなぎ、同時に使用している場合、INPUT/RESETキーをタッチしなくても、現在表示中のコンピューターの電源が切れると自動的に他のコンピューターの画面に切り替わります。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力(標準値)	電源ランプ
最大動作時(オーディオ動作時)	28W	青色点灯
通常動作時(出荷設定時)	16W	青色点灯
パワーセーブモード時	0.29W	橙色点灯
電源スイッチオフ時	0.26W	点灯なし

水平または垂直同期信号がオフ状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号(R, G, B)が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源がオフになっていることが考えられますのでご確認ください。

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。	P30
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P9
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P18
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。	P30
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P19
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12、P23
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P24
信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P12	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P12	
コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。	P30

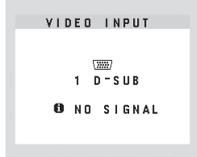
* 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1920×1080以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P23
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P7、P34
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。	P34、P35
画面の表示状態が変わっていく	DV MODEがONに設定されている場合、表示画面の内容により表示画面の明るさが自動的に調節されます。画面の明るさを固定する場合は、DV MODEをOFFに設定してください。 液晶パネルは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P19
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で消えます。	P7、P34
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。 ● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはRESETキーで工場設定に戻してください。	P18 P30 P21
表示色がおかしい	● OSD画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12、P23
表示がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。	P18 P30
画面がちらつく （分配器を使用している場合）	分配器を中継せず、コンピューターと直に接続してください。	P12
画面がちらつく （上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店もしくは当社サポートデスクにお問い合わせください。 ● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P18 P30 P19
画面がちらつく （上記以外の場合）	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12、P23

症 状	原因と対処	参照
画面がちらつく (DisplayPortケーブル接続時)	添付ケーブル以外のケーブルを接続している。 接続するコンピューターによって症状が変化する。	P23
画面が暗い	エコモードがオン状態の場合、消費電力を軽減するとともに画面の明るさを抑えます。ブライトネス調節にてお好みの明るさに調節してください。	P19、 P21

案内画面 / 注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。	P12
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピュータの電源が切れている可能性があります。	コンピュータの電源が入っているか確認してください。	
	コンピュータのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P24
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P23
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P23

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない/ 固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピュータの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows® 以外のOSをご使用の場合は、グラフィックスカードのドライバやOSとの組み合わせの関係で正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックスカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピュータのマニュアルをご参照いただくかコンピュータのサポート機関にお問い合わせください。
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。ただしHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオケーブルを接続しないでください。
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている。または、MUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「  」で音量を調節、または「INPUT/RESET」キーをタッチしてMUTEをオフにしてください。(→P19)
	パワーマネジメント機能が作動していると音は出ません。	キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。
	コンピュータによってはHDMIまたはDisplayPortから音声出力する場合、コンピュータ本体の設定変更が必要な場合があります。	お使いのコンピュータの取扱説明書をご確認ください。
	HDMI接続またはDisplayPort接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。	音声出力対応の機械を接続してください。
	HDMI AudioまたはDisplayPort Audioを使用している時、OSD「ツール」メニューのSOUND INPUTの設定がAUDIO INになっている。	OSD「ツール」メニューのSOUND INPUTの設定をHDMIまたはDPIにしてください。(→P22)

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

一般の廃棄物と一緒にしないでください。

製品および梱包材廃棄の際は、関連する法令または地方自治体の条例等に当たって適切な処理をしてください。

リサイクルについて

当社はモニターの「回収・リサイクルシステム」を構築しております。当社製品をお客様が廃棄される際は、本システムをご利用ください。

廃棄のお申し込み/お問い合わせ先は、当社ホームページをご参照ください。

https://www.jvckenwood.com/jp/sustainability/activity/product_recycle/pc.html

保証とアフターサービス

保証について

保証期間はご購入から5年です。

ただし液晶パネルの経年劣化、焼き付き等は保証対象外です。

また、保証期間内であっても有償修理となる場合がございます。

保証内容の詳細は、保証書に記載の当社保証規定によるものといたします。

補修用性能部品について

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- ① 異常があるときは、使用をやめて電源コードをコンセントから抜き、JVCケンウッド長岡フィールドサービスセンターにお問い合わせください。ご自分での修理はしないでください。大変危険です。
- ② 保証期間中の修理は…
故障内容や使用状況により無料修理いたします。
- ③ 保証期間後の修理は…
JVCケンウッド長岡フィールドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ④ 修理依頼での輸送は、製品の梱包箱および梱包材をご使用ください。「再梱包するとき」(→31)の手順に従って梱包して送ってください。

修理を依頼される場合にお知らせしていただきたい内容

- お名前
- ご住所
- ご連絡先（電話番号、FAX 番号またはE-mailアドレス）
- 製品のモデル名
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 購入年月日
- 故障の症状または異常内容（できるだけ詳しく）

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、当社にて下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

お問い合わせは

アフターサービスのお問い合わせは、下記サービスセンターにご相談ください。

【修理に対するお問い合わせ】

〒940-006

新潟県長岡市東高見1-2-1

株式会社JVCケンウッド長岡

フィールドサービスセンター

TEL 0120-24-7911 FAX 0258-24-6700

受付時間 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

(土、日、祝祭日および当社休日は除く)

【サポートに対するお問い合わせ】

〒940-006

新潟県長岡市東高見1-2-1

株式会社JVCケンウッド長岡

サポートデスク

TEL 0120-24-2061 FAX 0258-24-6700

受付時間 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

(土、日、祝祭日および当社休日は除く)

【製品に関する営業窓口】

【年間保守契約に対するご相談】

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

株式会社JVCケンウッド

ヘルスケア事業部 営業部

TEL 045-450-1890 FAX 045-450-1926

受付時間 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

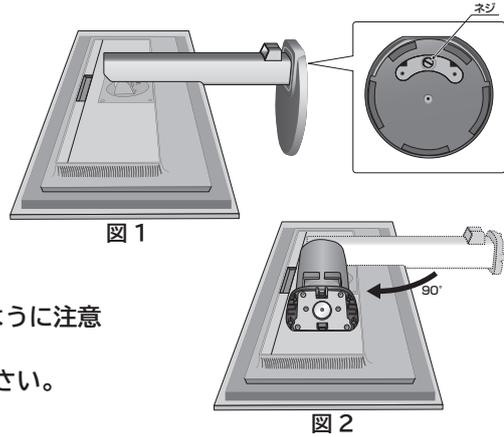
(土、日、祝祭日および当社休日は除く)

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。
 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く。
 ベーススタンドの底面に取り付けられたネジをゆるめてください。(図1)
 図2のようにスタンド部を90°回転させてください。

⚠ 注意

- 液晶パネルを下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。
- スタンドを回転させる際に指をはさまないように注意してください。



市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA規格に準拠した(100mmピッチ)市販のアームを取り付けることができます。

お願い

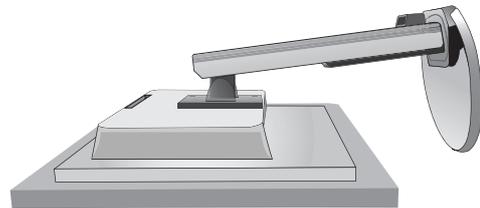
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。
 (本機のディスプレイ部の質量は約3.5kgです。)
- キー類をテーブルなどにあてないように注意してください。
- 市販のアームについては販売店にお問い合わせください。
- 市販のアームを使用する際には、下方向に5°を超える傾きで設置しないでください。

アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

スタンドの取り外し方

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、
 信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す

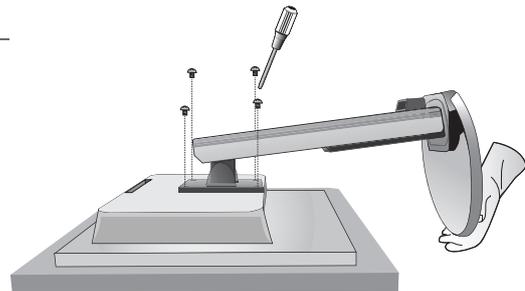
2 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、
 液晶パネルを下向きにして置く



3 スタンドを取り付けている4本のネジを取り外す

⚠ 注意

- ネジを取り外す時、必ず手でスタンドを持ってください。
 スタンドが落下して、けがの原因となることがあります。

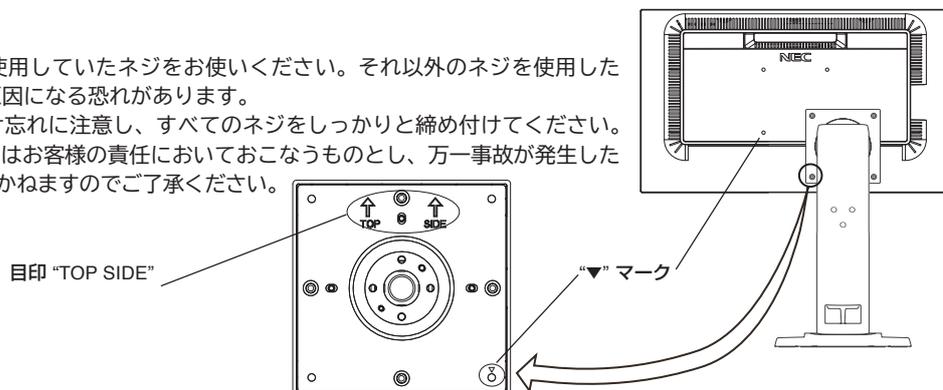


スタンドの取り付け方

1 図のようにスタンドの目印“TOP SIDE”をディスプレイの上方向に合わせます。ディスプレイとスタンドの“▼”マークをあわせて、ネジ四ヶ所を締めます。

お願い

- 必ずスタンド取り付けに使用していたネジをお使いください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。



アームの取り付け方

1 下記仕様のアームを取り付ける

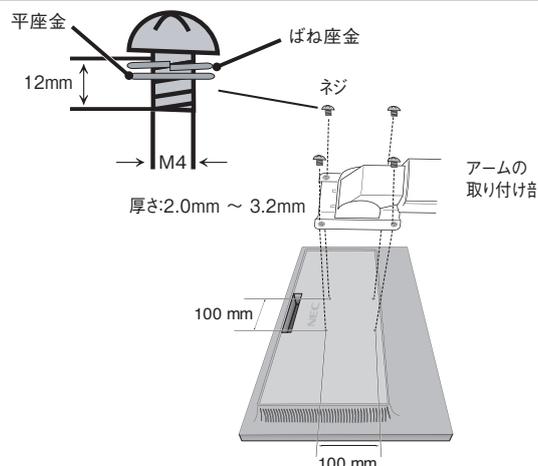
取り付け可能アーム：

取り付け部厚み2.0mm~3.2mm
VESA規格準拠(100mmピッチ)

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98~137N・cmが適切な締め付トルクです。)

お願い

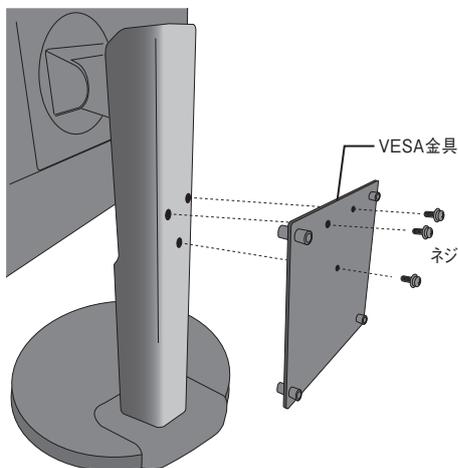
- 液晶ディスプレイの表示部を下にし置いたまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- アームを取り付ける際は、必ずスタンドの取り付けに使用しているネジ、または図の仕様のネジをお使いください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。



※上記アームの取り付け部形状は参考例です。

VESA金具の取り付け方

1 スタンドの背面にVESA金具をネジで取り付けます。



ネジを締め付ける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。

使用例

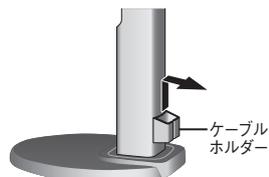
本機にはスタンド背面に添付のVESA金具を取り付けることにより、下記仕様の小型コンピュータを取り付けることができます。

・最大サイズ：184(W)×184(H)×63(D)mm

・最大重量：2.5kg

取り付けの際は、取り付ける小型コンピュータの取扱説明書を参照してください。

小型コンピュータの添付品の使用によってはケーブルホルダーと干渉しますので、その際はケーブルホルダーを取り外してください。取り外し方は下記のとおりで、ケーブルホルダーを上方へ持ち上げ手前へ引いてください。ケーブルホルダーを無理に引っ張ると破損の恐れがあります。



お願い

- 最大サイズ、最大重量を超える小型コンピュータをスタンド背面に取り付けしないでください。
- 小型コンピュータを取り付けた後に転倒や落下の恐れがないことの確認をおこなってください。
- VESA金具にVESAアームを取り付けしないでください。
- 取り付け方法については取り付ける小型コンピュータの取扱説明書を参照し、通風口などをふさがないようにご注意ください。
- 取り付け不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

3系統入力 P2、12

3 台のコンピューターを接続するための入力端子を 3 つ装備していることを表します。

DDC 2B規格(Display DATA Channel)

VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI規格(Display Data Channel Command Interface)

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DisplayPort P2、10、12、13

VESA が提唱するデジタルインターフェース標準です。主にコンピューターからの映像、音声信号を 1 本のケーブルで受信することが可能です。

DPM(Display Power Management) P24

VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-A端子(Digital Visual Interface-Analogue) P12

アナログ入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-D端子(Digital Visual Interface-Digital) P2、10、12、13

デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I端子(Digital Visual Interface-Integrated) P2、12、13

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection) P35

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。ただし、HDCP の規格変更などがおこなわれた場合、ディスプレイが故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface) P2、10、12、13

デジタル映像・音声入出力の規格です。1 本のケーブルで映像・音声・制御信号の送受信が可能です。デジタル信号をアナログ変換する必要が無いため高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

Plug&Play P24

Windows[®] で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格 P21

IEC (International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格(Video Electronics Standards Association) P24、31、32

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P19

アナログ信号をきれいに表示する為の調節機能の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

応答速度 P35

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

輝度 P35

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

国際エネルギースタープログラム P4

デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

コントラスト比 P35

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P7、26

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P26、35

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数/垂直周波数 P23、35

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するという事です。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

チルト角度 P15、

ディスプレイ画面を前後に動かせる角度の事です。

ノータッチオートアジャスト/NTAA(No Touch Auto Adjust) P24

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P24

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数/解像度 P23、35

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が多いほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

型名	CV-F238BNOJA		
サイズ(表示サイズ)	23.8型(60.47cm)		
有効表示領域	527.04×296.46mm		
表示画素数	1920×1080		
画素ピッチ	0.2745mm		
表示色	約1677万色		
視野角(標準値)	左右178°、上下178°(コントラスト比 10:1以上)		
輝度(標準値)	250cd/m ²		
コントラスト比(標準値)	1000:1(5000:1、DV MODE ON時)		
応答速度(標準値)	14ms(6ms ^{*1} RESPONSE IMPROVE ON時)(G to G)		
PC入力	水平周波数	31.5~81.1KHz	
	垂直周波数	56~75Hz	
	ビデオ信号	アナログRGB、デジタルRGB	
	同期信号	セパレート同期信号(TTL)	
	信号入力コネクタ	ミニD-SUB15ピン、DisplayPort(DisplayPort規格 Ver1.1a 準拠 HDCP対応)、HDMI	
音声入出力	入力コネクタ	3.5φステレオミニジャック(D-SUB入力時)、DisplayPort、HDMI	
	スピーカー	1W+1W(ステレオ)	
	ヘッドホン	3.5φステレオミニジャック	
使用環境条件	温度	5~35℃	
	湿度	20~80%(結露のないこと)	
保管環境条件	温度	-10~60℃	
	湿度	10~85%(結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力 (標準値)	最大動作時	28W(オーディオ動作時)
		通常動作時	16W(出荷設定時、オーディオ非接続)
		エコモード時	16W(ECO MODE1)、12W(ECO MODE2)(オーディオ非接続)
		パワーセーブ時	0.29W
電源入力コネクタ	3P IEC タイプ		
質量	約5.5kg(スタンドなし約3.5kg)		
チルト角度	上20°、下5°		
外形寸法	<div style="text-align: right;">寸法：mm</div>		

【ミニ解説】視野角:白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度を示します。

※1 特定階調レベル間(32、64、96、128、160、192、224)の各応答速度の平均値です。

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
 - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
 - (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems." This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name: JVC
Products: LCD Monitor
Model Name: CV-F238BN0JA

Responsible Party: JVCKENWOOD USA Corporation
500 Valley Road, Suite 203 Wayne, New Jersey 07470
TEL: 973-317-5000

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.



WEEE Mark (European Directive 2012/19/EU and amendments)

Disposing of your used product: In the European Union

EU-wide legislation as implemented in each Member State requires that used electrical and electronic products carrying the mark (left) must be disposed of separately from normal household waste. This includes monitors and electrical accessories, such as signal cables or power cords. When you dispose of such products, please follow the guidance of your local authority or ask the shop where you purchased the product, or if applicable, follow applicable legislation or agreement you may have. The mark on electrical and electronic products may only apply to the current European Union Member States.

Outside the European Union

If you wish to dispose of used electrical and electronic products outside the European Union, please contact your local authority and ask for the correct method of disposal.

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12